



にゅーすれたーふじやま・長泉

函館の青柳町こそかなしけれ
友の恋歌 矢ぐるまの 花



2017. 6

パナソニックエイジフリーショー

5月末、北海道（函館）へ行ってきました。今回で4回目になります。函館は私の好きな町のひとつです。最初は20代の頃に友達と二人、青函連絡船で海路を、2回目は子どもが小さい頃、友人の家族と、次は会社の慰安旅行です。それぞれに楽しい思い出ばかりです。羽田から空路を約1時間。あっという間に函館。今回はあいにく函館山の百万ドルの夜景は雨で観られませんでした。初めて訪れた友達には気の毒でしたが案内して下さった、地元の折谷さん（NPO 法人スプリングボードユニティ21の理事長）の企画で、展望台のレストランで食事を楽しむことができました。折谷さんお褒めだけあって、とても美味しかったのが大きな救いでした。私にとっては過去3回とはまた違った印象を持ちました。いちばん変わっていたのは五稜郭タワーです。前回の時より倍近く高くなったためか、五稜郭自体も高い位置から観ることができました。江戸幕府がロシアの南下に備えて置いていた奉行所が28億円かけて立派に復元されていました。季節も良く、ツツジやフジがとてもさわやかに咲き誇っていて、ちょうど雨も止んで、その中を散策しました。



折谷さんにいろいろ市内を案内していただきました。まずは、古き良き時代の百貨店がまちづくりセンターになっている所です。大理石の階段や当時の照明がそのまま使われ、手動式のエレベーターがまだ稼働していました。私たちは乗せてもらいました。



函館駅前の花壇は「NPO 法人スプリングボードユニティ21」（折谷理事長）の皆さんが市や企業の協力を得て、素晴らしい景色で観光客を迎えています。元町ではチャーミーグリーンのコマーシャルで一躍有名になった八幡坂に行って、家族で挑戦した、あの片足上げスタイルをやってみました。年齢には勝てないと上がらない足を見て、ため息が出ました。函館は明治になって開港され、当時は出島方式の外国人居留地にしようとしたが、失敗したことによって市中に混在、それが異国情緒豊かな街並みが今でも残っている所以だそうです。1階が和風、2階が洋風の井上米穀店、玄関先には赤いライラックが咲いていました。

赤レンガの金森倉庫は横浜や小樽を思わせる素敵な街並みで、オシャレな船が停泊していました。ちょうどイカ釣り漁船が沖に出るところを見ることができました。（解禁日は6月1日）



2日目のランチは五島軒でカレーを食べました。ここも古いレストランです。開業当時はロシア料理がメインだったのが、いつからかフランス料理に変わったそうです。今ではカレーライスが有名になりました。函館港町カレー、呉の海自カレー、佐世保の海軍カレーなど港町にはカレーが似合うようです。何故でしょう？ 船に乗って世界中を回っていると曜日の感覚がなくなってしまうようで、海軍では金曜日はカレーの日としたそうです。カレーは昔から乗組員の一番人気のメニューだとのこと。船が寄港して乗組員が下船し、カレーの注文に応えたのが港町にカレーがある理由だと私は思っていますが、いかがでしょうか？ 最終日、ランチは自由市場でもちろん海鮮丼です。もう富士に帰るのが嫌になるくらいの美味で、大満足しました。石川啄木が好んで住んだハイカラな町、函館。。。何だか私もわかる気がします。



渡邊啓視